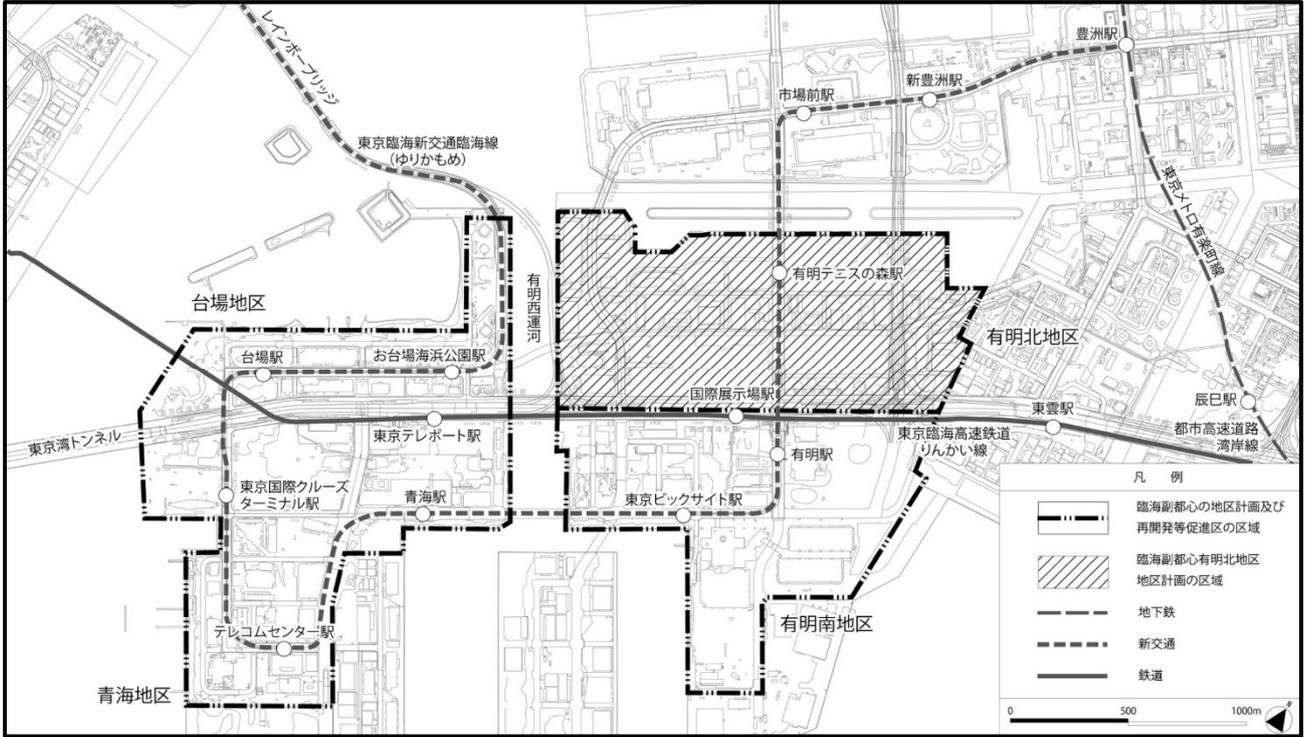


臨海副都心有明北地区地区計画の変更概要

位置図



変更内容

項目	現行	変更案
【地区計画の目標】	東京の新しい副都心となる臨海副都心を形成していくため、地区の現況と地元の意向を踏まえて、住宅を中心とした複合市街地として質の高い複合空間、都市環境を形成する。	東京の新しい副都心となる臨海副都心を形成していくため、地区の現況と地元の意向を踏まえて、 <u>東京2020大会のレガシーをはじめとした多様な機能が集積した複合市街地として質の高い複合空間、都市環境を形成する。</u> <u>⑤ 東京2020大会のレガシーやウォーターフロントとしての特性を生かして、スポーツや水に親しめる公園等を整備する。</u>
【区域の整備、開発及び保全の方針】 公共施設等の整備の方針（③公園等の整備方針）	有明北1区域西側及び水辺に、地区居住者、就業者及び来街者が気軽に利用できる公園等を整備し、水と緑のネットワークを形成する。また、有明北3区域西側の街区では、沿道の緑化やまとまりのある緑豊かなオープンスペース等を整備する。	有明北1区域に、 <u>東京2020大会のレガシーとして、</u> 地区居住者、就業者及び来街者が気軽に利用でき、 <u>スポーツにも親しむことのできる</u> 公園等を整備し、水と緑のネットワークを形成する。また、有明北3区域西側の街区では、沿道の緑化やまとまりのある緑豊かなオープンスペース等を整備する。

項目	現行	変更案
【再開発等促進区】 土地利用に関する基本方針	<p>①有明北1区域は、緑豊かな「旧防波堤」と海の眺望を活用した、うるおい豊かな居住機能を基本としつつ活力やにぎわいの創出を図る商業機能がバランスよく複合した市街地を形成する。また、東入江の周辺には、まちの活性化やにぎわいの創出を図るため、ウォーターフロントの景観をいかしたスポーツ・文化機能やにぎわい機能を配置する。</p> <p>⑦魅力ある都市空間を整備するため、水辺と街区内の機能が一体となった市街地整備を図る。</p> <p>⑧有明北地区全域の計画人口は、居住人口約<u>38,000人</u>、就業人口約<u>14,000人</u>とする（ただし、計画人口は誘導水準とする）。</p>	<p>①有明北1区域は、緑豊かな「旧防波堤」と海の眺望を活用した、うるおい豊かな居住機能や<u>スポーツ・文化・交流機能</u>を基本としつつ活力やにぎわいの創出を図る商業・<u>業務機能等</u>がバランスよく複合した市街地を形成する。また、<u>東京2020大会の感動・記憶を形に残すとともに、広く都民がスポーツに親しむことのできる公園を生かして多様な機能を配置し</u>、東入江の周辺には、まちの活性化やにぎわいの創出を図るため、ウォーターフロントの景観を<u>生かした</u>スポーツ・文化機能やにぎわい機能を配置する。</p> <p>⑦魅力ある都市空間を整備するため、水辺や<u>公園</u>と街区内の機能が一体となった市街地整備を図る。</p> <p>⑧有明北地区全域の計画人口は、居住人口約<u>28,000人</u>、就業人口約<u>15,000人</u>とする（ただし、計画人口は誘導水準とする）。</p>

項目	現行			変更案		
【再開発等促進区】 主要な公共施設の配置及び規模 (公園)	名称	面積	備考	名称	面積	備考
	公園1号	約6.5ha	位置及び面積の変更	公園1号	約9.7ha	位置及び面積の変更。 <u>面積には幹線街路放射第34号支線1下、幹線街路環状第2号線下を含む。</u>

計画図

